

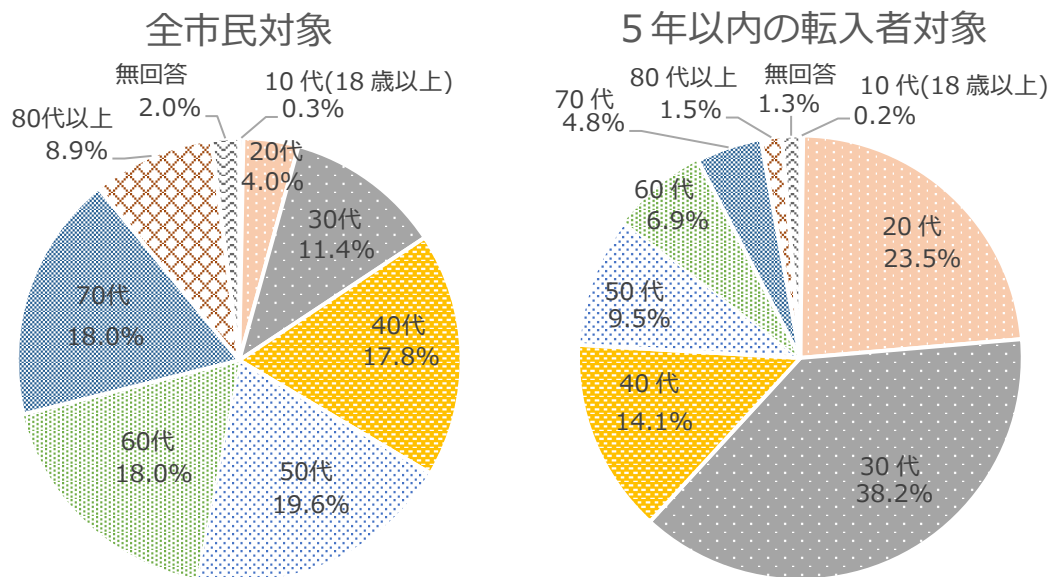
まちづくり市民意識調査結果（概要版）

(1) 調査概要

(1) 対 象	18 歳以上の市民 5,000 人（住民基本台帳からの無作為抽出） ※内 2,000 人は過去 5 年以内の転入者を抽出
(2) 方 法	郵送・インターネット調査
(3) 期 間	発送・回収：2024 年 12 月～2025 年 1 月
(4) 回収結果	回答者数 2,847 人（回収率 56.9%） ①全市民対象（3,000 人） 1,862 人（回収率：62.1%） ② 5 年以内の転入者対象（2,000 人） 985 人（回収率 49.3%）
(5) 備 考	前回の調査：2019 年度（2019 年 6～7 月）・回収率 65.3%

(2) 主な質問項目の回答状況

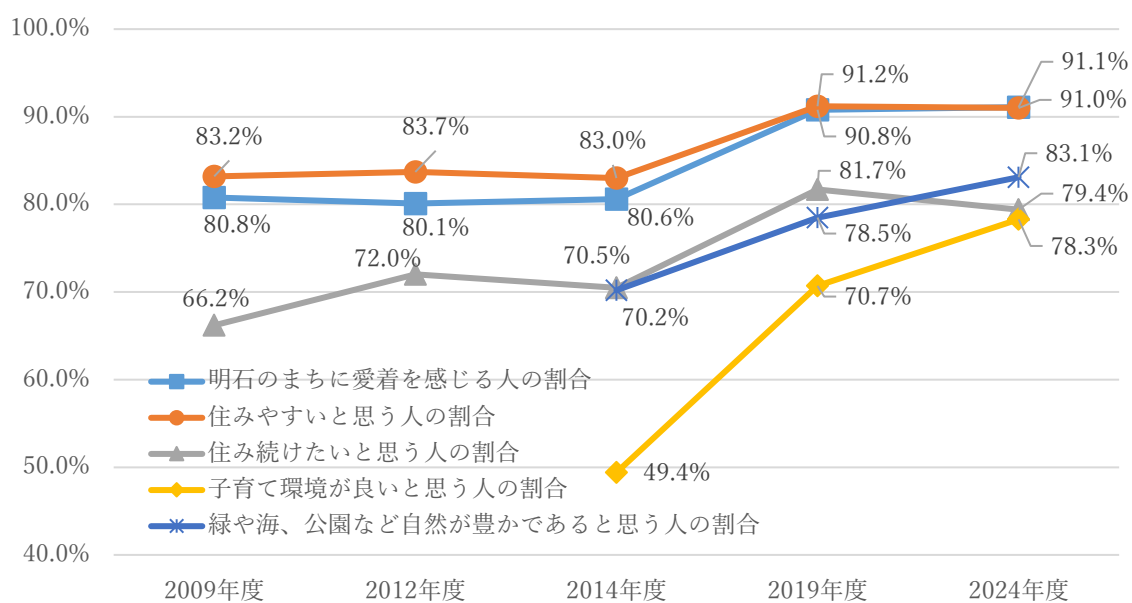
① 年齢構成



年代	全市民対象 (3,000 人)		5 年以内の転入者対象 (2,000 人)		住基上の 年齢構成
10 代 (18 歳以上)	5	0.3%	2	0.2%	2.1%
20 代	74	4.0%	231	23.5%	11.4%
30 代	213	11.4%	376	38.2%	14.7%
40 代	332	17.8%	139	14.1%	15.9%
50 代	365	19.6%	94	9.5%	17.6%
60 代	335	18.0%	68	6.9%	13.0%
70 代	336	18.0%	47	4.8%	14.2%
80 代以上	165	8.9%	15	1.5%	11.1%
無回答	37	2.0%	13	1.3%	—
合計	1,862	100%	985	100%	100%

② 「明石のまちについて」の集計結果 （全市民対象（3,000人）の結果）

- ・「明石のまちに愛着を感じる人の割合」・「住みやすいと思う割合」は、前回に続き 90%以上となりました。とくに「子育て環境が良いと思う人の割合」は増加率が高くなっており、「こどもを核としたまちづくり」の取組の効果が表れているものと考えられます。
- ・緑や海、公園など自然が豊かであると思う人の割合が前回よりも 4.6 ポイント上昇しています。



項目	2009年度	2012年度	2014年度	2019年度	2024年度
明石のまちに愛着を感じる人の割合	80.8%	80.1%	80.6%	90.8%	91.1%
住みやすいと思う人の割合	83.2%	83.7%	83.0%	91.2%	91.0%
住み続けたいと思う人の割合	66.2%	72.0%	70.5%	81.7%	79.4%
子育て環境が良いと思う人の割合	—	—	49.4%	70.7%	78.3%
緑や海、公園など自然が豊かであると思う人の割合	—	—	70.2%	78.5%	83.1%

◆お住まいの地域の生活環境について

「お住まいの地域の生活環境についてどう感じているか」という問いに対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた方の合計割合が、前回調査時と比べると、「海産物、野菜など食がおいしい」を除くすべての項目で増加し、特に「まちのイメージが良い」が13ポイント、「子育て環境が良い」が7.6ポイント高まっています。

順位	全市民対象（3,000人）
1位	地震や台風、豪雨など自然災害が少ない(87.6%) [前回1位：86.2%]
2位	日常の買い物が便利である(83.6%) [前回3位：80.7%]
3位	緑や海、公園など自然が豊かである(83.1%) [前回4位：78.6%]
4位	海産物、野菜など食がおいしい(80.5%) [前回2位：81.2%]
5位	子育て環境が良い(78.3%) [前回6位：70.7%]
6位	電車やバス、道路などの交通の利便性が高い(78.0%) [前回5位：75.8%]
7位	まちのイメージが良い(75.9%) [前回9位：62.9%]
8位	治安が良い(74.9%) [前回7位：70.3%]
9位	病院など医療施設が充実している(71.5%) [前回8位：68.3%]
10位	学校の教育環境が良い(58.4%) [前回10位：57.4%]
11位	会社や工場など働く場所が多い(37.6%) [前回11位：33.5%]

③ 各分野の施策

◆ 良くなった分野

- ・「こどもを核としたまちづくり」の推進により「子育て環境の充実」が、前回に引き続き高く評価されているものと考えられます。
- ・「地域福祉の推進」、「公園の整備・緑化の推進」は、全市民・転入者ともに、前回調査よりも高く評価されています。
- ・全市民対象において、「高齢者支援の充実」が、前回調査よりも高く評価されています。

順位	全市民対象（3,000人）	5年以内の転入者対象（2,000人）
1位	子育て環境の充実（62.5%） [前回1位：59.9%]	子育て環境の充実（69.8%） [前回1位：72.1%]
2位	本のまちの推進（17.4%） [前回2位：18.8%]	公園の整備・緑化の推進（13.3%） [前回6位：9.2%]
3位	地域福祉の推進（12.8%） [前回5位：12.5%]	本のまちの推進（12.6%） [前回2位：20.2%]
4位	高齢者支援の充実（12.0%） [前回12位：7.7%]	地域福祉の推進（11.3%） [前回7位：8.4%]
5位	公園の整備・緑化の推進（10.6%） [前回15位：6.3%]	交通体系の構築（8.8%） [前回4位：12.4%]

◆今後推進すべき分野

- ・全市民対象において、「安全安心な水の安定供給」が前回調査よりも大きく増加しています。5年以内の転入者については、回答者の年齢構成の割合が反映され、「子育て環境の充実」が前回に続き1位となりました。

順位	全市民対象（3,000人）	5年以内の転入者対象（2,000人）
1位	高齢者支援の充実（26.6%） 〔前回1位：35.8%〕	子育て環境の充実（32.6%） 〔前回1位：27.0%〕
2位	安全安心な水の安定供給（21.4%） 〔前回19位：5.9%〕	学校教育の充実（23.4%） 〔前回5位：17.5%〕
3位	地域医療の充実（19.8%） 〔前回3位：18.5%〕	交通体系の構築（18.1%） 〔前回2位：25.4%〕
4位	交通体系の構築（16.6%） 〔前回2位：22.7%〕	地域医療の充実（18.0%） 〔前回3位：18.0%〕
5位	学校教育の充実（14.6%） 〔前回6位：13.2%〕	高齢者支援の充実（14.2%） 〔前回6位：17.4%〕

④ 転入者の状況（5年以内の転入者対象（2,000人）の結果）

- ・転入するきっかけとしては、就職・転職・転勤や結婚などの新たな生活を始める機会において、多くなっています。
- ・転入先を決める際に考慮した住宅環境としては、交通の利便性や、日常の買い物が便利であるといった生活上の利便性に加えて、子育て支援施策の充実が前回調査時よりも8.1ポイント高まっています。

順位	転入するきっかけ	転入先を決める際に考慮した住宅環境
1位	就職・転職・転勤のため（22.6%） 〔前回2位：22.9%〕	電車やバス、道路など交通の利便性が高い（41.7%） 〔前回1位：43.0%〕
2位	結婚のため（20.5%） 〔前回1位：23.3%〕	日常の買い物が便利である（31.2%） 〔前回2位：27.9%〕
3位	家族や親族と同居・近居するため（14.5%） 〔前回3位：13.1%〕	子育て支援に関する施策が充実している（26.3%） 〔前回5位：18.2%〕
4位	より良い住宅を求めて（8.7%） 〔前回4位：9.1%〕	勤務地や学校に近い（17.2%） 〔前回3位：18.6%〕
5位	より良い周辺環境を求めて（8.7%） 〔前回5位：6.3%〕	親や子どもの家に近い（15.7%） 〔前回4位：18.4%〕